

防疫用殺虫剤

医 藥 品

昆蟲成長制御剤

アーススマラブ発泡錠 20

■有効成分: 1錠中ピリプロキシフェン10mg

内容量: 2g×200錠

■効能又は効果: 蚊幼虫(ボウフラ)、ハエ幼虫(ウジ)の防除

■用法及び用量

蚊幼虫 (ボウフラ)	流水域の場合、水量1m ³ につき3~6錠(有効成分0.03~0.06ppm)を発生場所にそのまま投入する。 静止水域の場合、水量2m ³ につき3錠(有効成分0.015ppm)を投入する。
ハエ幼虫 (ウジ)	水1Lに3~9錠を溶かし、希釀液を発生場所1m ² につき1Lを散布する。

●保管上の注意 (1)薬剤は開封したまま放置していると、空気中の水分を吸収して発泡力がおとろえるので、使用後残った薬剤は、元の袋に戻し密閉した後、他のものと区別して保管すること。(2)保管場所は、食品、食器、飼料などと区別し、小児の手の届かない乾燥した冷暗所にすること。

●その他の注意 (1)こぼした薬剤が、井戸などの飲料用水源に流入した場合には、直ちに警察又は保健所に届け出ること。(2)使用済みの空容器は、適切に処分すること。



製造販売元 大塚グループ
アース・バイオケミカル株式会社
〒771-0130 徳島市川内町加賀須野923
(お問合せ先) TEL 088-665-5353

●使用に際しての注意 (1)定められた効能又は効果に従い、用法及び用量を厳守して使用すること。(2)薬剤によってアレルギー症状やかぶれなどを起こしやすい特異体質の人は、薬剤の処理作業には從事しないこと。(3)病人、特異体質者、妊婦、乳幼児などは、薬剤の影響のない場所に移動させること。(4)環境を汚染しないよう乱用を避けること。また、養殖池、井戸、地下水などの汚染や蜜蜂、蚕(桑)などに被害を及ぼす恐れのある場所では使用しないこと。(5)食品、食器、飼料、おもちゃ、寝具、衣類、愛玩動物、鑑賞魚、植物などはあらかじめ他へ移すか、あるいは格納し、薬剤がかからないようにすること。(6)保護具(長袖の作業衣、作業帽、保護メガネ、保護マスク、保護靴、保護手袋など)及び使用する機械器具は、あらかじめよく点検整備しておくこと。(7)使用に際しては、必要量だけを分取し、その都度使い切ること。希釈した液は不安定なので、その都度必要量を調製し、また、直射日光の下に放置しないこと。(8)薬剤と他の薬剤を混合したり、加熱したりしないこと。また、希釈の際アルカリ性の下では分解しやすいので、石けん液等の混入を防ぐこと。(9)塗装面やプラスチック、石材、漆喰、白木などに薬剤が付着した場合は変色、変形があるので、覆いなどの処置をして薬剤がかからないようにすること。

●使用中又は使用後の注意 (1)使用に際しては、保護具は必ず着用し、身体の露出部を少なくして薬剤を浴びないようにすること。また、できるだけ吸い込まないように注意すること。(2)屋内など通気の悪い場所での作業では、十分換気するよう配慮し、処理後は必ず換気を行うこと。(3)薬剤の調製、散布中は喫煙、飲食をしないこと。使用中又は使用後にトイレに行くときは、手や顔をよく洗ってから行くこと。(4)使用後は必ず手や指などを石けんと水でよく洗うこと。また、使用中、薬剤が皮膚に付いたときは、直ちに石けんと水でよく洗うこと。万一、目などに入ったときは、直ちに水でよく洗い流すこと。作業中に大量の薬剤を浴びた場合には、直ちに汚染した衣類を脱ぎ、シャワーを浴びるなどして身体に付着した薬剤を洗い落とし、清潔な衣類に着替えること。また、必要に応じて、医師の診療を受けること。(5)作業時の衣類は、他の衣服と区別して洗濯し、保護具も洗剤でよく洗うこと。

■使用上の注意

使用前に本記載内容をよく読み、十分理解した上で使用すること。

してはいけないこと

(1)薬剤を口や目に入れないこと。
(2)希釈するときは、水がはね返らないようにして、均一に攪拌し、手や指で直接かき混ぜるようなことはしないこと。希釈する容器は専用のものとし、他と兼用しないこと。

相談すること

(1)万一誤って薬剤を飲み込んだ場合や、薬剤の使用により頭痛、目や喉の痛み、咳、めまい、吐気を生じたり、気分が悪くなった場合などには、直ちに使用を中止し、清潔な空気の場所で安静にして、医師の診療を受けること。医師の診療を受ける際には、薬剤がジフェニルエーテル系の殺虫剤であること、及び症状、被曝状況などについて出来るだけ詳細に医師へ告げること。